

第 34 回 いなべエフエム番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 2020 年 2 月 26 日(水) 10 時 00 分～
2. 開催場所 北勢市民会館 和室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 4 名

出席委員の氏名

佐藤 貴志委員長 辻 忠樹副委員長
下田 禎己委員 森川 里佳委員

欠席委員の氏名

成橋 貴夫委員 藤川 里美委員

事務局

中林 謙太 種村 茂高
瀬古 忠光

4. 審議事項

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について
どこか遠くへ(2/2 放送)

5. 議事の経過の概要及び結果

事項 1.報告事項

事務局より

- ・4 月からの番組編成予定、番組担当予定について報告。
- ・3 月 11 日防災特別番組の放送予定について報告。
- ・議会中継の予定について報告。

事項 2.審議用サンプル番組について

委員

いなべ弁で聞きやすく、テンポもよく、全体として聞きやすい印象でした。身近な話題でユーモアがあり楽しく聞ける番組だと思います。リスナーさんとのメールのやり取りも和やかな感じでリスナーさんもメールが出しやすいのではないかと思います。

「行ってきました」のコーナーでも紹介していた場所に行ってみたいと思わせる話し方でよいと思います。また、リスナーさんからのメールの返事で、いなべの良いところは、という所で田辺の白滝等を紹介していただいていたし、約1時間でしたがあつという間という感じでした。

委員

楽しく聞かせていただきました。少し、放送日当時(2/2)の新型肺炎の話もさかれていて、放送自体は問題ないと思いますが、現在こういう状況になってきて防災ラジオの位置づけだと、どういう役割をいなべ FM が果たせばいいのか、どういう事をやっているのか。放送日の頃はまだ現在のように緊張感がなかったと思うが、いなべ市内だとどこに問い合わせるのか、どういう症状なら問い合わせる等、現在はどのようにやっているのか。

事務局

今回のサンプル番組の中では、世間一般的な情報は取り上げていますが、これとは別に、月曜日～金曜日の朝、昼、夕の情報番組(生放送)中のお知らせコーナーの中で、新型肺炎に関する情報や予防方法、保健所の窓口や問い合わせ先等の情報を必ず放送しております。

委員

身近に感じる、いつも聞きなれている言葉で話しているので。

添乗員として各地へ行かれた話で、私もよく旅行に行くが、改めてそういう所もあったのだなと思わせてくれる。また、いなべのいい所も順番にやっていっていただくといいと思う。

新潟からのメールも来ていたし、地域の発信にもなると思う。

事務局

今回のサンプル番組以外でもそうですが、遠方からインターネットで聞いていただいている方からのメールもきます。この番組に関しては、自分が添乗で行った先でいなべ FM やいなべ市の事を宣伝していただいているようです。(いなべ FM をインターネットで聞ける等)この反応がメールできています。

委員

いなべの言葉を使って、聞いていても身近に感じ、職業を生かし放送していただいているのではないのでしょうか。ただ一点、すぐに言い直していたが、リスナーからのメールの後に、新型コロナウイルスの話の所で、中国の旅行者が持ってきたという所と、チャーター機で帰ってきたという所を、口が滑って持ってきたと言いそうになっていたという所が、該当する方が聞かれたらどう思うかなと思った。

しかし、タイムリーな話で、マスク切れの状況等が伝わってきました。

事務局

放送従事者として、従業員、パーソナリティをはじめ、放送だけでなく情報を発信するときは注意すべきことだと思います。関係者全員でご指摘いただいた事を共有していきたいと思います。

6、 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定

7. 公表の方法

自社ホームページ

8. その他

委員

リスナーからの投書みたいなものはあるのか。また、こんな放送してもらってよかったといったようなことをこの場で紹介していただいてもいいのではないのでしょうか。

事務局

悪いことはほぼないですが、ご意見はいただく事があります。

次回どのようなご意見があるのか紹介させていただきます。

以上